



亀山市では、「豊かな子育てができるまち」を目指して、子育て家庭の支援に取り組んでいます。子育て家庭に向けた応援メッセージとして『かめやまお茶の間10選（実践）』を作成しています。昨年度も、令和2年10月に強化週間が設定され、中部中学校でも取組を進めました。今年度は、年間2回の強化週間（5月と10月）がもたれるということで、早速、本校でも取り組みたいと考えています。詳細につきましては、別途、亀山市教育委員会からの文書とともに、各ご家庭に向けたアンケート（振り返りカード）を配付しますので、そちらをご覧ください。

【中部中の強化週間】令和3年5月24日（月曜日）～28日（金曜日）

あいさつは 家族をつなぐ愛言葉
おかえりが聞こえるだけで安心感
つたえよう いただきますとありがとう
いってきます 今日元気に ハイタッチ

つくって守ろう 家族のきまり
ケータイをいじってないで おはなししよう
夕食は テレビは消して みんな笑顔
約束は みんなが決めて 守るもの

お茶の間で 伝えよう 感謝の気持ち
ありがとう 感謝の気持ち 伝えよう

家族でつくろう ハッピーリズム
早寝早起き朝ごはん朝うち みんな元気
家族でつくろう生活リズム 笑いと幸せ曼珠
朝食の匂いがみんなのアラーム

かめやまお茶の間10選(実践)

支えあう家族 尊い家族
毎日の キミの笑顔で 生きている
お茶の間で 見せたサイン、見つけてね
無事ねがう 行ってきます と孫の声

豊かな体験 豊かな心 家族で経験
遊びは親子の心を かよわせる
「友だち」と「遊び」に勝る学びなし
得られる喜び無限大
小さい時にたくさん
体験をする事が大切!

夢への一歩 家族の力
聞こう 子どものゆめ 話そう 親の夢
夢に向かって努力する
その姿こそが美しい
奮めて伸ばそうやる気と意欲

テレビオフ 会話はオンで 一家だんらん
家ぞくは、いつでもおうえんだん
夕食は 今日の出来事 発表会
言いすぎず しっかり言える 関係性

本開くところを紡ぐ この出会い
減るページ 君の心に 増える思い
一日のどこかで毎日 手に本を
未だ見ぬ世界が広がるよ
おやすみ前のどくしょ会

しっかり食べて つくろうカラダ
一食に 赤黄緑の 栄養素そろえよう
好き嫌いは 人間関係の狭さに
作り手の 想いを食べる お弁当

10選の中から強化週間中に取り組む内容を選んでください（複数選択可）

亀山市社会教育委員会・亀山市教育委員会

決定しましたあ!
令和3年度 生徒会目標
& 『中部の未来』(前期)

さわやかな笑顔で
挨拶をしよう!
時計を見て行動しよう!
令和3年度 生徒会目標

ありがとう
いつも笑顔で
いこうな友情の
ながりを大切に
前期生徒議会による『中部の未来』

中部中学校生徒会では、令和3年度の生徒会目標と、前期生徒議会メンバーによる『中部の未来』（スローガン）を決定し、生徒昇降口上部に大きく掲示しました。生徒会目標は、「笑顔」と「挨拶」をキーワードに、時間を守って行動することも盛り込まれています。一方、『中部の未来』にも「笑顔」の言葉が入っていて、やはり生徒たちは、楽しい学校生活や仲間づくりを強く意識しているのだなあと感じました。スマホなどを使ったSNS等でのつながりが中心である、若者たちの希薄な人間関係が問題視されている昨今ですが、学校というコミュニティの中でのつながりを大切にできることは、とても価値のあることだと思います。今後の生徒会の取組を、じっくり見守りたいと思います。



部活訪問②

サッカー部・美術部

学校だよりの新コーナーとして、「部活訪問」を企画しました。日頃から、各種大会やコンクール、文化祭等への出品などに向け、一生懸命に取り組んでいる様子を紹介します。中には、部長・副部長や顧問の先生へのインタビューも！！
★コーナー2回目となる今回は、「サッカー部」と「美術部」です。

※前回、剣道部部長の松平さんの名前が間違っていましたことをお詫びします。

【サッカー部】顧問：三田貴宏先生・山本啓介先生 部長：兼浦虎仁 副部長：野村健悟



勢いよく蹴り出したボールがきれいな弧を描き、チームメイト目がけて正確に飛んでいく様には“強さ”を感じました。そんな光景とは裏腹に、部員たちには、たくさんの笑顔が垣間見られ、“楽しさ”もうかがわれました。顧問の三田先生が言うには、「試合で、前向きな声がたくさん出せるようになったのが進歩です」とのこと。その理由は、日頃の練習の中にあるのだと実感しました。また、山本先生も、「とにかく楽しく練習をしているのが何より。しっかりと声も出せてい

る」と口を揃えて断言。また、部長の兼浦さんも、「サッカー部のいいところは皆が楽しくやっているところ」と顧問の先生に同調していました。続けて、今年の目標を、「鈴鹿・亀山地区で4位以内に入り、さらに上を目指していきたい」と力強く語ってくれました。

実は、最近（5月2日・3日）の試合で、既に鈴鹿・亀山地区では14校中3位となり、早くも目標を達成！夏の地区大会を突破し県大会出場を果たしてもらうことが、次の楽しみになってきました。

まずは、サッカーを全部員で楽しむことが一番の近道かと。



楽しく指導する山本先生・三田先生

【美術部】顧問：中田勝彦先生・坂元子先生 部長：山下結花 副部長：金沢美侑・植田若那



美術室の前に掲示された幾つかの作品。これは、いじめ防止の一環として展開されていた「ピンクシャツウィーク」を受けて、美術部が独自にピンク色をモチーフにした作品づくりをしてくれたものです。現在、部員は総勢27名。主な活動は、デッサン、スケッチ、

アニメーション画等の個人作品制作が中心ですが、夏休みなどには共同制作をすることもあるそうで、今年は、美術室外のコンクリート部分にビッグアートを描くという企画も。

部長の山下さん曰く、「学年を越えてみんな仲が良い。互いを高め合ってほしい」と。また、顧問の中田先生は、「絵の上手、下手は言わない。誰でも気軽に活動できるのが美術部の良さ」と話す。課題は？との問いに、「(絵などの)課題が進まないのが課題な

んです」と答えたのに、部員たちはすかさず「先生もやん！」と反論。いい意味で、顧問と部員たちとの距離の近さを感じました。坂先生からは、「より専門的な技術を身につけて、頑張ってください」と部員に向けたメッセージをいただきました。



制作を見守る中田先生

文化祭での展示も心待ちにしたいと思います。



「ピンクシャツウィーク」を受けての作品

梅雨入り前2回目の つ・ぶ・や・き …

◆『かめやまお茶の間10選(実践)』は、いわゆる子育て世代の保護者の皆さんにとっては、大いに参考になることが盛り込まれている。文字通り、全てを実践できたとしたら、その家庭は円満で理想の子育てができるにちがいない。とは言っても、そうはいかないのが実際の子育て。やり直しがきかないのは当然のことだし、その時その時で悩みも色々出てくるもの。学校としては、どんな時でも相談にのることができるよう、その体制は整えているつもり。「こんなこと学校に言っても・・・」と思う前に、とりあえず一歩踏み出してみても。もしも、学校だけで解決できないことがあれば、関係機関や相談機関につないでいく仕組みもあるので。